

2 年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

(工学部) 各学科共通 | 教養力育成科目表

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目)

年次 区分			1年次				2年次				3年次			
			前期		後期		前期		後期		前期		後期	
コア群	教養力基盤	基礎	キャリア・デザイン ②	コミュニケーション・デザイン ②										
			ウェルネス基礎 ②											
			Freshman English A 2	Freshman English B 2	Essential English A 2	Essential English B 2								
		応用	Advanced English A 2	Advanced English B 2	Communicative English A 2	Communicative English B 2								

年次 区分			1年次		2年次		3年次	
			前期または後期、または両方 [注4]		前期または後期、または両方 [注4]		前期または後期、または両方 [注4]	
展開群	多面的視座	基礎	IT リテラシー [注6]	2	自己成長と学び [注5] [注7]	2		
			AI データサイエンス基礎 [注7]	2	産業デザイン	2		
			生命と生態系	2	中国の文化と言葉	2		
			化学と生活	2	韓国の文化と言葉	2		
			科学史	2				
			地域創生論	2				
			市民生活と法	2				
			日本国憲法	2				
			心理学	2				
			文学	2				
			現代倫理	2				
			経済学	2				
			社会学	2				
			九州学	2				
			異文化理解	2				
	実践知	応用	地域創生 PBL	2	ウェルネス応用	2		
海外研修			2	日本語実践	2			
				仕事理解型実習	2			
						課題解決型インターンシップ	2	

[注1] コア群から14単位、展開群から12単位以上、合計26単位以上を取得しなければならない。なお、展開群のうち「生命と生態系」、「化学と生活」、「科学史」は生命環境化学科では進級条件および卒業要件の単位に含めない。

[注2] 「Freshman English A, B」、「Advanced English A, B」、「Essential English A, B」、「Communicative English A, B」については、習熟度別に指定されたどちらかの科目を受講するものとする。

[注3] 「Essential English A, B」および「Communicative English A, B」は、該当する英語の資格を取得したものについても、届け出により成績評価を行う。

[注4] 展開群の各科目は、前期のみ、後期のみ、または前期および後期に開講する。各年度の開講学期は授業時間割で示す。両学期で開講される科目については、年度内での履修はどちらかの学期のみとし、再履修は翌年度以降とする。

[注5] 「自己成長と学び」は通年開講とする

[注6] 「IT リテラシー」は生命環境化学科・電気工学科では必修、電子情報工学科・知能機械工学科では選択である。

[注7] 「AI データサイエンス基礎」および「自己成長と学び」は主に遠隔授業を実施する。

(工学部) 各学科共通 | 横断科目表

年次 区分		1年次		2年次		3年次	
		科目	Future Vision 講座	1			AI データサイエンス実践
横断		Future Vision 実践	1				

[注1] 横断科目は、集中講義(前期、後期または夏休み中に短期間集中して開講)または、前期および後期に開講する。各年度の開講時期は授業時間割で示す。

[注2] 「Future Vision 講座」および「Future Vision 実践」の各科目においては、原則として科目名に()書きで主題を付し、個別の科目として開講し、複数履修することができる。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕電子情報工学科 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目、◎印はコア科目)

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	電子情報基礎数学 ④	電子情報数学 ④	線形代数Ⅰ ②	線形代数Ⅱ 2				
			微分方程式 ②	初等統計学 2				
	物理概論 ②	物理学Ⅰ ②	物理学Ⅱ ②					

[注1] 「電子情報基礎数学」及び「電子情報数学」は習熟度別にクラス分けして講義を行う。

■専門教育科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
電子情報基礎科目	電子工学基礎 ②							
	論理回路 ②	電磁気学Ⅰ ②	電磁気学Ⅱ ②	電子計測 ②	制御基礎 ②	制御工学 2		
デバイス系科目				電子物性 ②	電子デバイスⅠ ②	電子デバイスⅡ ②		
					光エレクトロニクス 2	先端デバイス工学 2		
回路系科目		電気回路Ⅰ ②	電気回路Ⅱ ②	電気回路Ⅲ ②				
			電子回路Ⅰ ②	電子回路Ⅱ ②	電子回路応用 ②	電気電子回路実習 2		
情報処理系科目	プログラミング基礎 ④		プログラミング演習 ②	応用プログラミング ②	情報ネットワーク基礎と演習 2			
					人工知能基礎と演習 ②			
共通科目				技術者倫理 2	プレゼンテーション 2	技術英語 2		
			情報技術資格 2	無線技術資格 2				
	コンピュータシステムⅠ ②	コンピュータシステムⅡ ②				IoT基礎と演習 2		
						電子情報工学総合 ②		
	電子情報工学入門 ②	物理・電子情報基礎実験 ②	電子情報実験Ⅰ ②	電子情報実験Ⅱ ②	電子情報実験Ⅲ ②	創成実験 ②	卒業研究 ⑥	
			工学概論 2		国際工学実習 2			

[注2] 「無線技術資格」と「情報技術資格」は、該当する国家資格を大学入学以降に取得したのものについても、届け出により単位を認定する。

[注3] 「工学概論」は、進級条件および卒業要件の単位に含めない。

3 関与度一覧表

■教養力育成科目のディプロマ・ポリシーに対する関与度一覧表【コンピテンシーと数値】

区分	授業科目名	必/選	学年	学期	形態	DP1		DP2		DP3		DP4	
						A	B	C	D	E	F	G	H
					コンピテンシー	幅広い教養	専門知識・技能	ライフデザイン力	メタ認知・実現力	グローバルマインド	未来構想力	デジタル力	発信力
						相異なる解が想定される複雑な問題に対処する知識や多面的視座を得ることができる。	【教養力育成科目には該当せず】	社会の変化に合わせて自らのウェルネスを築くと共に、人生をデザインし、自己実現に向けて絶え間ない努力を重ねられる。	自己理解を深め、適性も見極めながら目標を設定し、実行とその振り返りを繰り返しつつ、実現へ向けた取り組みができる。	多様な価値観やバックグラウンドを持つ他者尊重しながら問題解決に向けて協働できる。	人類社会が経験しなかった新たな問いに実践に基づき立ち向かいながら、その解決に向けて歩める。	数理やAI、データサイエンス、ICTの知識に基づいて、データを的確に分析し、状況を把握できる。	日本語及び基礎的な英語で自らの考えを分かりやすく論理的に構築でき、またそれに基づいて背景や意見を異にする相手ともコミュニケーションが取れる。
コア群	キャリア・デザイン	必修	1	前	講義	10		60	10		10		10
	コミュニケーション・デザイン	必修	1	後	講義	10			10	10	10		60
	ウェルネス基礎	必修	1	前	演習	20		60	20				
	Freshman English A	選択	1	前	講義・演習	10			20	10			60
	Advanced English A	選択	1	前	講義・演習	10			20	10			60
	Freshman English B	選択	1	後	講義・演習	10			20	10			60
	Advanced English B	選択	1	後	講義・演習	10			20	10			60
	Essential English A	選択	2	前	講義・演習	10			20	10			60
	Communicative English A	選択	2	前	講義	10			20	10			60
	Essential English B	選択	2	後	講義・演習	10			20	10			60
Communicative English B	選択	2	後	講義	10			20	10			60	
展開群	自己成長と学び	選択	2	通年	講義			20	60				20
	ITリテラシー	選択/必修	1	前後	講義・演習	40						60	
	AIデータサイエンス基礎	選択	1	前後	講義	20					20	60	
	生命と生態系	選択	1	前後	講義	60				20	20	20	
	化学と生活	選択	1	前後	講義	60		20				20	
	科学史	選択	1	前後	講義	60			20			20	
	産業デザイン	選択	2	前後	講義・演習	20					60	20	
	地域創生論	選択	1	前後	講義・演習	30				10	60		
	市民生活と法	選択	1	前後	講義	60		10		10	20		
	日本国憲法	選択	1	前後	講義	60				20	20		
	心理学	選択	1	前後	講義	60			20				20
	文学	選択	1	前後	講義	60		20			20		
	現代倫理	選択	1	前後	講義	20		20			60		
	経済学	選択	1	前後	講義	60		10			20	10	
	社会学	選択	1	前後	講義	70		10			20		
	九州学	選択	1	前後	講義	80					20		
	異文化理解	選択	1	前後	講義・演習	20					60		20
	中国の文化と言葉	選択	2	前後	講義	20					60		20
	韓国の文化と言葉	選択	2	前後	講義	20					60		20
	実践知	ウェルネス応用	選択	2	前後	演習	20		60	20			
地域創生PBL		選択	1	前後	講義・演習	20					70		10
日本語実践		選択	2	前後	講義	10		10			20		60
仕事理解型実習		選択	2	集中	講義・演習			20	60	20			
課題解決型インターンシップ		選択	3	集中	講義・演習				60	20	20		
海外研修	選択	1	集中	講義・演習	20					60		20	

注記：表中の数値はコンピテンシーに対する関与の程度を表し、55以上が主関与科目、50～15が副関与科目、10～5が補関与科目を示す。

■横断科目のディプロマ・ポリシーに対する関与度一覧表【コンピテンシーと数値】

授業科目名	必/選	学年	学期	形態	コンピテンシー	DP1		DP2		DP3		DP4	
						A	B	C	D	E	F	G	H
						幅広い教養	専門知識・技能	ライフデザイン力	メタ認知・実現力	グローバルマインド	未来構想力	デジタル力	発信力
						リベラルアーツを旨とした知識と思考力	当該分野において必要とされる知識と技能	自分の将来を設計・構想し、成長を目指すことができる力	自らを客観的に理解し、目標を実現できる力	異なる背景や文化を持つ人々と積極的に関わり、協働できる力	より良い未来を構想し、新しい解を生み出す力	数理の基礎知識を基に、情報を的確に整理・分析することができる力	自らの考えを適切に伝えることができる力
AIデータサイエンス実践	選択	3	集中	講義・演習			20				20	60	
Future Vision 講座	選択	1	集中	講義・演習			10	10			20	60	
Future Vision 実践	選択	1	集中	講義・演習						20	60		20

■電子情報工学科の専門基礎及び専門教育科目の関与度一覧表【コンピテンシーと数値】

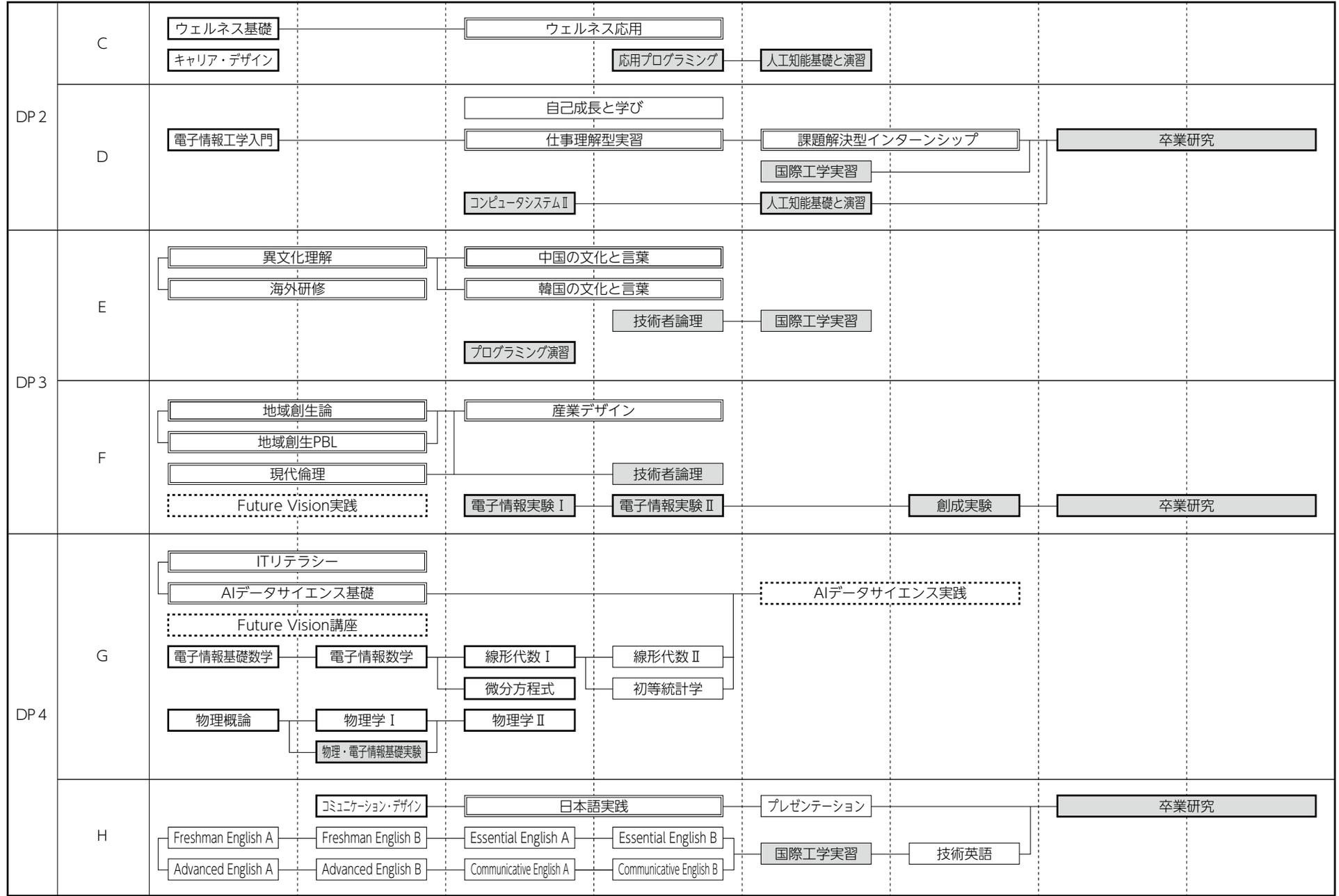
区分	授業科目名	必/選	学年	学期	形態	DP1		DP2		DP3		DP4	
						A	B	C	D	E	F	G	H
						幅広い教養	専門知識・技能	ライフデザイン力	メタ認知・実現力	グローバルマインド	未来構想力	デジタル力	発信力
専門基礎科目	電子情報基礎数学	必修	1	前	講義・演習				10		10	80	
	電子情報数学	必修	1	後	講義・演習				10		10	80	
	線形代数Ⅰ	必修	2	前	講義				20		20	60	
	線形代数Ⅱ	選択	2	後	講義				20		20	60	
	微分方程式	必修	2	前	講義				20		20	60	
	初等統計学	選択	2	後	講義				10		10	60	20
	物理概論	必修	1	前	講義							100	
	物理学Ⅰ	必修	1	後	講義	10						90	
	物理学Ⅱ	必修	2	前	講義	10						90	
	電子情報基礎科目	電子工学基礎	必修	1	前	講義		90				10	
論理回路		必修	1	前	講義		80					20	
電磁気学Ⅰ		必修	1	後	講義		60		10			20	10
電磁気学Ⅱ		必修	2	前	講義		60		10			20	10
電子計測		必修	2	後	講義		80				10	10	
制御基礎		必修	3	前	講義		70					30	
制御工学		選択	3	後	講義		70					30	
電子物性		必修	2	後	講義		60		10			20	10
電子デバイスⅠ		必修	3	前	講義		70	10				20	
電子デバイスⅡ		必修	3	後	講義		70	10				20	
デバイス系科目	光エレクトロニクス	選択	3	前	講義		60		10			20	10
	先端デバイス工学	選択	3	後	講義		70	20				10	
	電気回路Ⅰ	必修	1	後	講義		80					20	
	電気回路Ⅱ	必修	2	前	講義		70				10	20	
	電気回路Ⅲ	必修	2	後	講義		80					20	
	電子回路Ⅰ	必修	2	前	講義		80					20	
	電子回路Ⅱ	必修	2	後	講義		80					20	
	電子回路応用	必修	3	前	講義		80					20	
	電気電子回路実習	選択	3	後	講義・演習		60		10		10	20	
	プログラミング基礎	必修	1	通年	講義		80					20	
情報処理系科目	プログラミング演習	必修	2	前	講義・演習		60	10		30		20	
	応用プログラミング	必修	2	後	講義・演習		60	20				20	
	デジタル信号処理	必修	3	前	講義・演習		60		10		10	10	10
	人工知能基礎と演習	必修	3	前	講義・演習		60	20	20				
	情報ネットワーク基礎と演習	選択	3	前	講義・演習		70		10			10	10
	応用デジタル信号処理	必修	3	後	講義		60		10		10	10	10
	技術者倫理	選択	2	後	講義	30		10	10	20	20		10
	技術英語	選択	3	後	講義	10	20			10			60
	プレゼンテーション	選択	3	前	講義・演習		15	15	10				60
	情報技術資格	選択	2	前	講義		60		20			10	
共通科目	無線技術資格	選択	2	後	講義・演習		80			5	10	15	
	電子情報工学入門	必修	1	前	実験・演習		5	5	60	15	5		10
	物理・電子情報基礎実験	必修	1	後	実験・演習		25		20	10		35	10
	電子情報実験Ⅰ	必修	2	前	実験		60		5	5	15	5	10
	電子情報実験Ⅱ	必修	2	後	実験		60		5	5	15	5	10
	電子情報実験Ⅲ	必修	3	前	実験		60		5		5	15	15
	創成実験	必修	3	後	実験・演習		20	10	10		20	15	15
	コンピュータシステムⅠ	必修	1	後	講義		80					20	
	コンピュータシステムⅡ	必修	2	前	講義		60	20	20				
	IoT基礎と演習	選択	3	後	講義・演習		60		10		10	10	10
電子情報工学総合	必修	3	後	講義		70		5		5	10	10	
卒業研究	必修	4	通年	研究		10	15	10	15	10		15	
工学概論	選択	2	前	講義		10	70	10			10	10	
国際工学実習	選択	3	前	実習		10			20	40	10	20	

注記：表中の数値はコンピテンシーに対する関与の程度を表し、55以上が主関与科目、50～15が副関与科目、10～5が補関与科目を示す。

4 カリキュラムフロー

本フローは、コンピテンシーに対する科目のつながり（主に主関与）を示す。 で囲まれた科目については、前期のみ、後期のみ、または前期および後期に開講する。各年度の開講学期は授業時間割で示す。
 ※ は必修科目、 は副関与
 で囲まれた横断科目については、原則、集中講義として開講する。

DP	コンピテンシー	授 業 科 目 名							
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
		前期または後期、または両方		前期または後期、または両方		前期または後期、または両方		前期または後期、または両方	
DP 1	A	化学と生活			技術者論理				
		生命と生態系							
		科学史							
		日本国憲法							
		市民生活と法							
		経済学							
		心理学							
		文学							
		社会学							
		九州学							
DP 1	B	電子工学基礎	電磁気学 I	電磁気学 II	電子計測	制御基礎	制御工学	卒業研究	
					電子物性	光エレクトロニクス	先端デバイス工学		
						電子デバイス I	電子デバイス II		
						電子回路応用	電気電子回路実習		
		論理回路	電気回路 I	電子回路 I	電子回路 II	電子回路 III			
			電気回路 II	電気回路 III					
			物理・電子情報基礎実験	電子情報実験 I	電子情報実験 II	電子情報実験 III	創成実験		
							電子情報工学総合		
				情報技術資格	無線技術資格		IoT基礎と演習		
			コンピュータシステム I	コンピュータシステム II		情報ネットワーク基礎と演習			
		プログラミング基礎	プログラミング演習	応用プログラミング		人工知能基礎と演習	応用デジタル信号処理		
						デジタル信号処理			
				工学概論					



5 数理・データサイエンス・AI（応用基礎レベル）追加カリキュラム

電子情報工学科では「§9-5数理・データサイエンス・AI 応用基礎教育プログラム要領（別表1）」に加えて下記学修項目を対応する科目で学修できる。

学修項目		科目名
データエンジニアリング基礎	2-4. データベース	IoT 基礎と演習
	2-6. IT セキュリティ	情報ネットワーク基礎と演習
		IoT 基礎と演習
AI 基礎	3-5. 認識	応用デジタル信号処理
	3-8. 身体・運動	応用デジタル信号処理